

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和4年3月20日発行 第8号

❖くにみクラゲ公民館 グランドオープン記念まんじゅうまき

くにみクラゲ公民館がいよいよ4月2日(土)にグランドオープンします。当日は午前9時からオープニングセレモニーがあり、まんじゅうまき※も行いますので、地区の皆様、是非ご来館下さい。

通常の開館時間は、午前9時から午後5時まで、定休日はありませんが、機器メンテナンス等で臨時休館があるとのことです。



入館料は、大人500円、小学生以下300円ですが、地区住民に限り、大人子供とも200円で入館できます。

展示スペースは、プレオープン時から増えており、見応えも十分です。うす暗い展示スペースで見るクラゲの泳ぐ様子は、幻想的で心が癒されます。地区の皆様、是非一度ご覧下さい。※コロナの状況により、手渡しに変更することもあります

❖国見地区自主防災組織連絡協議会研修会・総会

令和4年2月13日(日)、国見公民館大ホールにおいて、国見地区自主防災組織連絡協議会の研修会と総会が開催され、この協議会の会員等30名が出席しました。水上会長のあいさつの後、福井市危機管理課職員による「福井市避難支援プラン」についての研修がズーム(遠隔会議システム)を使って行われました。国見地区では、避難に支援の必要な方が150名で、うち町内の支援を求めている方が102名(高齢者98名、歩行困難者2名)おられるとのことでした。支援を求めている方の避難計画を個別に作成する必要があるそうですが、作成済みは16名だけだそうです。今後、避難支援を進めていく上でこの個別プランが重要だと感じました。

研修の2件目として、昨年夏の避難所開設時の課題について松井館長が説明を行いました。

研修の終了後、協議会の総会が行われ、令和3年度の事業報告、令和4年度の事業計画、予算案、会員および会則の改定について審議されました。全議案で賛同が得られ会議は終了しました。



◆ライフジャケット贈呈式

令和4年1月26日(水)、青少年育成福井市民会議国見支部(国見公民館)が国見小学校にライフジャケットを贈呈しました。国見小学校では津波等による災害に備えて児童全員分のライフジャケットを保有していますが、古くなりファスナーが壊れたものもあるので、2着分を更新したものです。

ライフジャケットを受け取った児童代表の出見光顕君(4年)と岩本和美さん(5年)は「大切に使いたい」とお礼を述べていました。



◆青少年育成推進員の推薦

青少年育成福井市民会議国見支部では、令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間の青少年育成推進員として、伊藤克己(国見町)さん、伊藤仁実さん(鮎川町)、山口輝樹さん(白浜町)、浜口正利(大丹生町)さんおよび近村佳伴さん(小丹生町)の5名を推薦しました。

青少年育成推進員は、次のような活動を行っています。

- ①地域住民に「地域の子どもは、地域が守り育てる」という意識の啓発を行うとともに、青少年の社会参加を推進する。
- ②市民会議の構成員として地域に根ざした青少年健全育成活動を推進するとともに、「家庭の日(毎月第3日曜日)」、「青少年育成の日(毎月15日)」その他の青少年健全育成運動の地域への浸透を図る。

青少年育成推進員に推薦された皆様、2年間よろしく申し上げます。

◆男女共同参画推進事業進捗状況報告

昨年10月発行の公民館だよりで男女共同参画推進事業について紹介しましたが、その後の進捗状況について報告します。

男女共同参画推進員の小丹生町の新谷信吉さんと榎谷薫さんが、男女共同参画に関するアンケートを自治会連合会長、国見地区各自治会長、公民館運営審議会委員および自主防災組織連絡協議会会員に対して10月から実施し、11月に回答用紙を回収しました。現在、集計作業はほぼ終わり、全体の総括作業を行っており、4月に最終結果が報告される予定となっています。川西ブロックのアンケート調査についての中間報告の概要は、次のとおりです。

- ・回答者の77%が男性、23%が女性で、年齢構成は、30歳代以下0.5%、40歳代7.1%、50歳代20.3%、60歳代44.5%、70歳以上27.5%
- ・女性の視点が取り入れられていない場面として、自治会活動が58.8%と最も多く、次いで防犯活動39%、防災活動32%、まちづくり活動23%、社会奉仕・福祉活動12%
- ・女性が地域活動に参加しづらい理由として、「家事、育児、介護が忙しい」が66.5%と最も多く、次いで「女性が参加する雰囲気がない」50%、「仕事が忙しい」27%、「家庭の理解がない」18%
- ・学校教育で男性が優遇されている場面としての問いに対しては、「男性が優遇されているとは思えない」という回答が67%と最も多い(この結果については、回答者の77%が男性であったことを考えると疑問が残ります)

❖ 「未来づくり創造ファンド事業」意見交換会

令和4年2月1日(火)午後、福井市役所で行われた意見交換会に水上連合会長(いきいき国見会長)と松井館長が参加しました。この事業は「～地域の夢を叶える～」というサブタイトルが付いていて、地域ビジョンを策定した地区のまちづくり組織が町おこしのための事業(ハード事業も含む)を実施する際の財源確保を支援するもので、令和3年度には市内の5地区で事業が実施されています。その中には隣の殿下地区も含まれ、「道草だんごの会」が郷土の伝承料理「葉ずし」の販売用移動ワゴンの作成を目指した事業を行い、クラウドファンディングで目標以上の118万円の寄付金を集めました。

この事業が今までのまちづくりに関する市の補助事業と違うのは次の2点です。

①事業経費の一部補助ではなく、クラウドファンディングで集まった寄付金の全額が補助金となる。

②ふるさと納税の仕組みを使っているため、寄付が集めやすい。

例えば、先に紹介した殿下地区の「道草だんごの会」では、目標額が50万円でしたが、118万円もの寄付が集まり、その全額を移動販売用ワゴン車の製作費に活用したとのことです。

「いきいき国見」や「越前海岸盛り上げ隊」のようなまちづくり組織が、今後の新規事業を企画する場合に利用可能な事業だと思われます。

❖ 福井市川西地区総合開発促進協議会 講演会・研修会



令和4年2月20日(日)、JA福井県福井西部支店(布施田町)にて福井市川西地区総合開発促進協議会の講演会と研修会が開催されました。参議院の山崎正昭議員による「アフターコロナの地方活性化」の講演の後、地域活性化に関する研修会が行われ、同協議会の委員約50名が聴講しました。

山崎参議院議員は講演の中で、「市場経済主義の進展に伴う都市地方間格差拡大を解消することがアフターコロナ対策の中核になる。具体的には、地方における農林水産業を保護産業とすることを国策にするような大胆な政策転換が必要になる。また、北陸新幹線や中部縦貫道の開通を契機にした

地域活性化が重要で、川西地区の皆さんの意見も聞きながら施策実現に取り組んで行く」と述べていました。

研修会では、北陸電力(株)環境地域供創部の担当者が「電子回覧板アプリ」を紹介し、新しい時代の自治会の情報伝達手段として有用であると説明していました。また、市役所のまち未来創造課職員が「ふるさと納税を活用したクラウドファンディング」と「地域おこし協力隊の配置」について解説しました。

この協議会は福井市西部の大安寺、宮ノ下、鶉、本郷、棗、鷹巣、国見の7地区の県議会議員、市議会議員、自治会連合会正副会長、公民館長等により構成されていて、地域の環境整備や地域住民の生活安定を推進するための請願、陳情、研修、および先進地視察等を行っています。国見地区からは、本協議会副会長である石丸市議会議員、水上連合会長、松井公民館長が参加しました。

❖ 小学生下校時の「子ども安全声かけ運動」のお願い

国見小学校の児童の下校時には、PTAの役員さんたちを中心に見守り活動を行っていますが、4月の新学期からこれまでの見守り活動に加えて「子ども安全声かけ運動」を地区住民の皆さんにもお願いすることとしています。「畑仕事をしながら」「洗濯物を干しながら」「散歩をしながら」・・・と、〇〇しながらで結構ですので、下校する子供たちに一声かけていただくことによるご協力をお願いします。子どもたちの安全につながるよう、地区を挙げて応援しましょう。



◆ 将来の夢を語ろう

3月9日(水)、国見中学校において中学3年の卒業生を対象にした「将来の夢を語ろう」と題したイベントが開催されました。今年の卒業生8名と先生方も参加してポーセラーツ(白い磁器にお気に入りのデザインのシートを貼り付けたり、専用の絵の具を使ってイラストを描いたりして、それを電気炉で焼いてオリジナルのマグカップや食器などを作る工芸)を行いました。



◆ 中学校卒業記念植樹

3月7日(月)午前、国見中学校にて卒業記念の植樹が行われました。「いきいき国見」の水上会長の指導により卒業生8名が桜の苗木をグラウンド北側に植樹しました。卒業生の山本有紗さんは「桜の花が咲くようになったら、同級生のみんなと一緒に見に来たい」と言っていました。この行事は約10年前から「いきいき国見」が主催し毎年行われているものです。



◆ 海岸地域バス(100円バス)ゲンキーなつめ店まで延長運行

4月1日から海岸地域バス(通称100円バス)の1日5便のうちの2便が、昨年12月にオープンしたゲンキーなつめ店まで延長運行することになりました。これにより、バス代200円(往復)でゲンキーなつめ店での買い物ができることとなります。高齢者や交通弱者の皆様には朗報です。

このバス延伸は、自治会連合会の水上会長と辻岡副会長が国見地区住民からの意見をもとに、市当局や株ゲンキーと交渉し実現したものです。住民の声に社会が反応した良い事例だと思えます。

今後、国見地区も人口が減少し、不便になることも増えてくることが予想されますが、機をとらえて少しでも国見地区が住みよくなるよう皆で声を出しましょう。

◆ 新年度公民館職員の紹介

令和4年度分として公募した国見公民館主事に3名の応募があり、運営審議会で審査を行った結果、鮎川町の杉田美津代さん(再任)と大丹生町の瀧下昭彦さん(新任)に決定しました。

また、管理人についても公募を行ったところ、2名の応募があり、厳正な審査の結果、国見町の辻岡公雄さん(再任)に決定しました。地区の皆様、よろしくお願いいたします。

令和4年度 国見公民館職員		
館長	松井 司	鮎川町
主事	杉田 美津代	鮎川町
主事	瀧下 昭彦	大丹生町
管理人	辻岡 公雄	国見町



今後開催予定のイベント等

- 3月27日(日) 青少年育成福井市民会議川西ブロック研修会
 - 4月2日(土) くにみクラゲ公民館ランドオープン(まんじゅうまき)
 - 4月15日(金) 移動図書館「あじさい号」巡回
 - 4月22日(金) 令和4年度第1回公民館運営審議会開催
 - 4月26日(火) 国見地区自主防災組織連絡協議会幹事会
- コロナ感染症対策のため中止となったイベント
- 2月27日(日) 実年会講演会(龍馬と福井と海援隊)
 - 3月1日(火) すこやか学級閉講式